

「いいだ未来デザイン 2028（原案）」への意見聴取

パブリックコメント（9/27～10/14）で出された意見	対応
<p>基本構想に関すること</p> <p>【未来ビジョン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8つのまちの姿の「学びあいにより生きる力と文化を育むまち」にスポーツの文化の推進を盛り込んで欲しい。※スポーツ文化の醸成を望む ・ 8つのまちの姿の「私らしい暮らしのスタイルを楽しむまち」の都会との時間距離が大幅に短縮され～とあるが、時期尚早の文言ではないか。 また、「国内外からの移住者が増え～交流しています」を「～交流・担い手になっています」にしたほうが良い。 ※参加や交流に留まらず、地域の担い手として活躍していただきたい。 ・ 8つのまちの姿の「人と人がつながり、安全安心に暮らせるまち」の文末に市民強靱化対策の考え方を取り入れ「十分な知識・行動ノウハウを持った市民が育成されています」を追加表記してみてもどうか。 ※ハード整備だけではなく、人材育成等のソフトの面からも強化を図っていただきたい。 ・ 8つのまちの姿の「地域の応援で子育ての幸せが実感できるまち」の「～保護者が安心して就労できる～」を「様々な家庭環境の保護者が～」にしたほうが良い。 ※共働き世帯、交代制勤務世帯、外国籍世帯などが昔に比べて増えている。こうした多様な家庭スタイルに目を向けた政策が求められるため。 ・ 8つのまちの姿の「持続的で力強く自立するまち」の「～知の拠点で様々な研究開発が行われ、国内外に新たな価値を発信している」の文末に「新たな雇用を創出しています」を明記してほしい。 ※知の拠点には、結果的に地域の雇用創出につながることを期待している ・ 8つのまちの姿の「地域の誇りと愛着で 20 地区の個性が輝くまち」の「自分の住む地域に誇りと愛着を～」を「自分の住む地域、関わりがある地域に」にしてみてもどうか、 ※自分の住む地域だけでなく、実家がある地域や友人がいる地域などでも、意欲的に寄与していくメッセージ性を盛り込んではいかがか。 	<p>10月18日の未来デザイン会議の検討を踏まえ、以下のとおり対応することとなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「スポーツの文化の推進」を加筆します。 ・ 2027年のリニア開通後を見据えて記載しています。 また、ご指摘の文言「担い手になっています。」を加筆します。 ・ 「知識・行動ノウハウを持った市民が育成されています」を加筆します。 ・ 現状のままとさせていただきます。 ・ 「新たな雇用の創出」を加筆します。 ・ 現状のままとさせていただきます。

<p>【時代認識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯田の特徴として学びの文化を論じているが、この上で「ストレスフリー（リスクフリー）」あるいは、「適度なぬるさ」といった側面もある。こうした視点で地域認識を捉えていく必要性もあるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未来ビジョンを検討していく上で、当地域の緩やかなコミュニティ、安全安心、適度なぬるさ、ほどほど感といった側面を地域認識として捉えており、8つのまちの姿にもこうしたことが反映されています。 (例) 緩やかで程よいコミュニティ、飯田の強みである人と人とのつながり
<p>基本目標ごとの戦略的な展開に関すること</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・リニア駅で降車した観光客を飯田市内に呼び込む手段として、ロープウェイを引いてみてはどうか。 ・基本目標3「地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む」の想定している主な取組として、ICTを活用した教育課題への対応とあるが、家庭・学校における液晶端末の運用指針の考え方も追加してほしい。 また、飯田 GL（国際・地域）学習の充実とあるが、地域内に住む外国籍系児童・生徒へのコミュニケーションにも目を向けてほしい。 ・基本目標4「自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす」の想定している主な取組として、人形劇の世界都市としての推進力・求心力の向上とあるが、平成30年に開催する AVIAMA 総会や世界フェスに向けた準備よりも、むしろ総会やフェス後をどのようにするかが重要ではないか。 ・基本目標5「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の取組に不妊治療に関する対応の強化をしてほしい。 また、地域振興住宅に福祉や教育など「暮らし」の視点で活用してみてはどうか。 ・基本目標7「共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる」の取組に教育委員会とのコラボレーションによる「地域活動」としての機能強化をしてみてもどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目とも戦略計画を策定していくなかで検討していきます。

「いいだ未来デザイン 2028（原案）」への意見聴取

地区別懇談会及び行財政改革推進委員会で出された意見（参考）	対応
<p>キャッチフレーズに関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッチフレーズの“ムトス”がわかりにくい。“合言葉はリニア”にしたほうが夢や希望があるのではないか。 ・「ムトス」「デザイン」「ビジョン」など横文字が多く使われているが、できるだけ平易な言葉遣いに心掛けていただきたい。 ・「誰もが主役」を「誰もが輝く」にしてみてもどうか。（理由：舞台には主役も脇役も必要だから） 	<p>対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状のままとさせていただきます。 ・全体を通してわかりやすい表現に心掛けていきます。 ・「誰もが主役」の意味するところは、それぞれの個性や多様性が尊重される地域社会の中で、一人ひとりがその個性を活かしながら主役として活動、活躍できることが大切なことであり、これからの飯田が目指していくべき姿なのではないかと考えました。 舞台には、支えるもの、支えられるもの、どの役回りも大変重要であり、その誰もが主役の役割を果たしているのではないかと考えています。 しかしながら、主役とは、一般的に主人公すなわち中心人物として捉えられますので、一見すると誰もが中心人物になることを求められているように見えるかもしれません。今後の意見も参考にさせていただき、検討をしてまいります。
<p>基本構想に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の基本構想との整合性はどうか。 ・目指すまちの姿には、人と人のつながり、地域の誇りなど、一人ひとりの心に響く言葉が入っているため、大変よい印象を受けた。 ・子どもたちが帰ってくるまちをつくるビジョンはとても良い。子育て世代には身近なこととして共感できる。 	<p>対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の基本構想は、その一つひとつが自立し、個性あふれる取組により構想の実現を目指していくものであり、地区のまちづくりを特徴づけています。いいだ未来デザイン 2028 における基本構想にも「地域の誇りと愛着で 20 地区の個性が輝くまち」が描かれており、地区の構想実現に向けた取組を支援していきます。 いいだ未来デザイン 2028 の策定過程で、20 地区を対象にした地区別懇談会を開催し、12 年後に実現したい「くらしの姿」「まちの姿」と将来の人口展望を検討していただきました。 この検討をこれからの地区基本構想へ活かしていただきたいと考えます。

特別委員会設置に関する考え方（案）

1 趣旨

次期総合計画（いいだ未来デザイン 2028）が、「飯田市議会の議決すべき事件を定める条例」第2条の規定により、第4回定例会に議案として提出される見込みであることから、特別委員会を設置して審査を行うこととしたい。

2 委員会の名称

「飯田市議会の議決すべき事件を定める条例」第2条の規定に基づく議案の審査を行うことを主たる目的とすることから、「基本構想基本計画特別委員会」とする。（平成18年第1回定例会において、同名称の特別委員会を設置した経過有り。）

3 委員会の構成

次期総合計画検討委員会と同一（構成委員も）とするが、正副議長はオブザーバー参加しない。理事者側出席者に理事者（副市長）を加える。

4 委員会の役割

- （1）基本構想及び基本計画（いいだ未来デザイン 2028）の審査
- （2）基本構想及び基本計画に基づく活動の監視評価（進行管理）に関する調査研究

5 設置期間

第4回定例会開会日から概ね29年3月まで

6 今後の扱い

議会運営委員会において決定する。